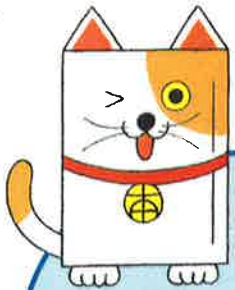


宮前図書館 実習報告

夏休みに都立西高等学校の生徒4名がボランティアで図書館の仕事を手伝ってくれました。体験後、生徒のみなさんに仕事の感想やおすすめの本などを伺いました。



**図書館で取り組んだ仕事の感想
について教えてください！**

☆本が好きなので、作業中につい手に取ってしまうため、それをおさえるのが大変でした。配架するときに、途中でアイウエオ順が分からなくなったりと、混乱しました。でも、基本的に本が好きなので、本に関わる仕事ができ楽しかったです。

☆最初は配架に慣れなくて、1冊の本を元の位置に戻すのにすごく時間がかかってしまいました。でも数をこなすうちにコツをつかむことができ、作業の効率を上げることができ、うれしかったです。もともと細かい作業が好きだったので本の修理がとても楽しかったです。充実した2日間を過ごすことができました。

☆配架と面揃えが一番楽しかったです。逆に、本の修理が大変でした。ボランティアを受け入れて下さりありがとうございました。一介のボランティアにすぎない私が言うのも…と思うのですが、返却本のラックに門ごとに入れる場所を区別する紙などを貼って、配架する前に大まかに本を分類しておくともっと楽に配架できると感じました。

☆交換便というシステムを初めて知って面白かった。予約本の準備など、カウンターの裏に様々な仕事があることも面白かった。本の配架をやったことはあったものの、連続してやることがここまで大変だと思わなかった。

宮前図書館や杉並の図書館について、どう思いますか？



☆和気あいあいとした職場で、なじみやすかったです。仕事内容をひとつひとつ教えて下さったのが、非常に印象的でした。

☆雰囲気明るく、地域の人々との関わりも強く、とても利用しやすい図書館だなと思った。

☆明るい雰囲気、快適に利用できる図書館だと思いました。中学時代、図書委員会で「誰もがまた来たいと思える図書館をつくる」ことを目標としていたのですが、その理想に一番近い図書館だと感じました。

☆とても本の数や種類が充実しているので便利。また、たくさん図書館があるのも良い。

おすすめの本を教えてください！



『舞姫』 森鷗外/著

雅文体の文章の中に、ドイツ語がふんだんにちりばめられていて、当時の鷗外の雰囲気や時代を感じることができる作品になっています。豊太郎の心情に様々な解釈ができるのがいいなと思います。

『贖罪』 湊かなえ/著

様々な人の視点で物語が描かれていて展開がとてもおもしろく、最後の最後にどんでん返しがあるので、最初から最後までスリルを味わうことができます。

『月魚』 三浦しをん/著

古書業界を舞台にして、本に魅せられた2人の青年の思いが描かれています。兄弟のように育った幼い2人の関係性が大きく変わってしまった、ある夏の日の午後。過去と現在を織り交ぜながら進むストーリーについ惹きこまれてしまう、そんな作品です。彼らの“物語”がどのようにして交わっていくのか…。是非ご一読下さい！

『キャンベル生物学』 ニール・キャンベル ほか/著

生物の仕組みが細かく図解してあり、見ていて飽きない。暇なときに眺めているのが良い。